



下末吉だより

令和5年5月31日

6月号

横浜市立下末吉小学校

下小の健やかな体の育成に向けた取組について

校長 江口 和良

下末吉小学校の「健やかな体の育成プラン(令和5年度)」の具体的取組について

- 朝縄跳びでは短縄に加えて長縄を取り入れることや、新しいスタンダードに合わせた外遊び(ボール遊び・用具等)を充実させ、集団・個人の両方の面で体を動かす楽しみを体感させていく。
- 感染症対策では市のマニュアルの変更に合わせ、適宜対応していく。
- 子ども達を取り巻く環境の変化の中、健康づくりの課題について家庭と学校が共有したり、学校保健委員会の議題としたりしていく。
- 栄養士・食育部と連携し、年間を通して食育活動を行っていく。休み時間の外遊びについてスタンダードを見直し、ボール遊びや用具遊びなどを充実し、体力を高めるようにする。

上に示したのは、本校の中期取組目標「**下小71周年 未来に繋ごう 下小のバトン!**」の実現に向けた「**健やかな体の育成プラン**」の具体的取組です。本校の学区には公園がなく、さらにここ数年のコロナ禍により、子ども達の運動の機会が減っていることを私たち教職員も懸念しています。一方で、毎年実施される体力・運動能力調査の結果を見ると、「握力」「立ち幅跳び」については全学年が、また「反復横跳び」については5つの学年が市の平均を上回っていて、継続的に取り組んできた朝縄跳びの成果が表れていることが分かります。

ここでは、子ども達の健やかな体づくりに向けた、新しい水泳学習取組について紹介します。

近隣のスイミングスクールを活用した水泳学習の実施について

「水泳学習のお知らせ(5/19付)」でお知らせしたとおり、今年度の水泳学習は近隣のスイミングスクールで行います。これは、2030年頃の社会を見据えて、横浜の教育が目指す姿の実現に向けたアクションプランとして制定された「第4期横浜市教育振興基本計画(以下「第4期」)」の一環で、横浜市教育委員会の指定を受け実施するものです。「第4期」には、「周囲に民間スイミングスクールがある等の実情に応じて、民間企業との連携により、水泳学習のアウトソース化も視野に検討するなど、児童生徒のより良い学びや学習環境の確保、教職員の負担軽減を図ることを目的とした検討を進めます。」とあり、本校はこの目的にまさに合致していると考え、手を挙げました。

本校とスイミングスクールとの打合せも順調に進んでいて、今年度は6月から9月までに低・中・高の学年ブロックごとに6回の水泳学習を実施する見込みです。また、スイミングスクールでも、この取組を大変前向きに捉えてくださっていて、学年ブロックに応じた指導計画について検討してくださっています。

様々な人との関わり(交流)が大好きな下小の子ども達が、スイミングスクールのご協力をいただき、水泳学習で楽しく学び、子ども達の健やかな体づくりが進むことを期待しています。